

# KÄRCHER

## KM 105/180 R Bp

## KM 105/180 R Bp Pack

一般的な注意事項	3
適切な使用	4
安全についてのご案内	4
機能	6
荷下ろしのヒント	6
外観および操作部分	7
機器の始動前	8
機器の始動	8
操作	10
機器の運搬	13
保管 / 長期間の保管	13
お手入れとメンテナンス	13
故障かな?と思ったら	20
技術データ	21



Register  
your product

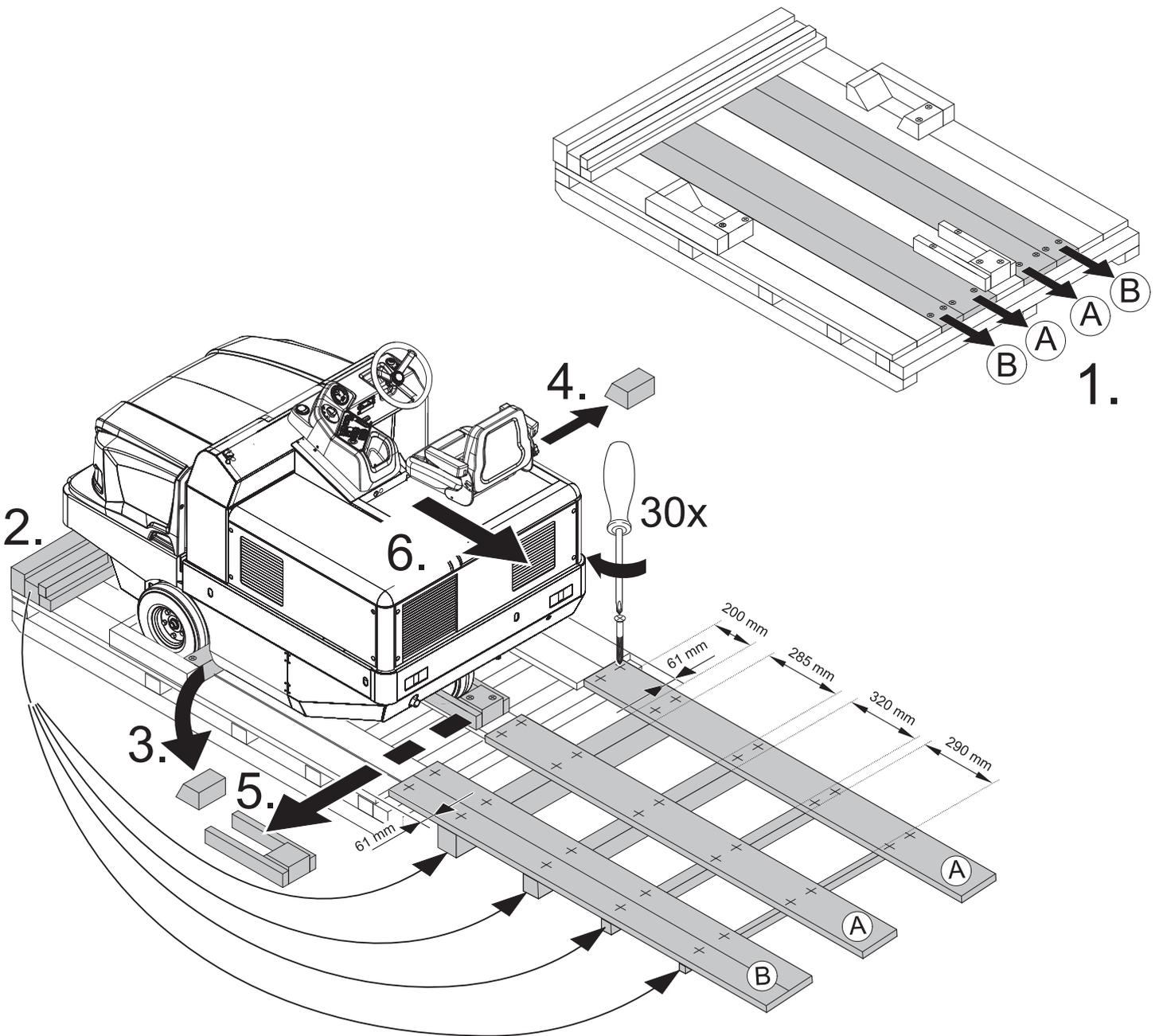
[www.kärcher.com/welcome](http://www.kärcher.com/welcome)



59691420



(06/20)



## 一般的な注意事項



機器を初めて使用する前に、この取扱説明書の注意事項と記載事項に従ってください。

本製品に同梱されているすべての取扱説明書は、いつでも閲覧できるように大切に保管してください。

開梱の際に輸送による損傷があった場合は、販売業者にご連絡ください。

- 機械の警告および情報プレートは、安全な操作のための重要な指示を提供します。
- 取扱説明書に記載されている情報に加えて、すべての法定安全および事故防止規則を遵守する必要があります。

## 環境保護



梱包材はリサイクルできます。梱包材を家庭ごみに捨てず、リサイクルしてください。



使用済みの機器には、リサイクル可能な貴重な資源が含まれています。使用済み機器は適切にリサイクルしてください。各自治体の規定を守って使用済み機器を廃棄してください。

バッテリー、オイル、燃料、および同様の物質を環境に放出してはなりません。これらの物質は、各自治体の規定を守って処分してください。

## 保証

関連する販売会社が発行する保証条件は、各国で適用されます。弊社は、保証期間内にお客様の機器の潜在的な故障を無料で修理します。ただし、保証する故障は材料の欠陥または製造上の欠陥によって引き起こされた場合に限りです。保証請求が発生した場合は、販売店または最寄りの認可カスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

その際、購入証明書を提出してください。

## 付属品と交換部品

### 危険

事故を回避するために、スペアパーツのすべての修理および交換は、認可されたカスタマーサービス担当者のみが実行できます。

- 純正のアクセサリおよび純正のスペアパーツのみ使用してください。これにより機器を安全にトラブルなくご使用できます。
- アクセサリやスペアパーツに関する詳細については、[www.kaercher.com](http://www.kaercher.com) をご覧ください。

## 安全上のご注意

### 危険

- この注記は機器の誤った取り扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う可能性が高い危険事項が記載されています。

### 警告

- この注記は機器の誤った取り扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う可能性がある警告事項が記載されています。

### 注意

- この注記は機器の誤った取り扱いにより、使用者が傷害を負う可能性がある注意事項が記載されています。

### 注意事項

- この注記は機器の誤った取り扱いにより、物的損害につながる可能性があります。

## 警告シンボル

	表面が高温のため火傷の危険があります。機器の作業を開始する前に、排気が十分に冷えるまで待ちます。
	デバイスでの作業中は、常に適切な手袋を着用してください。
	機器の部品間が詰まって挟まれるおそれがあります。
	可動部品による怪我のおそれがあります。手を伸ばさないでください。
	火災の危険があります。燃えている物や光っている物を吸引しないでください。
	チェーンピックアップ/クレーンポイント
	ジャッキアップポイント
	廃棄物コンテナを上げた状態で運転した場合の地面の最大傾斜

	進行方向の勾配は 14%を超えてはなりません。
	回転ブラシに注意（回転方向に注意）
	危険な電流に注意してください。
	指示に注意してください。
	ステアリングはゆっくりと回してください。
	取扱説明書を読み、指示に従ってください。
	損傷するおそれがあります。 細かいダストフィルターは洗わないでください。

## 適切な使用

この機器は商業用などの床面の清掃を目的としています。例えば次のような場所です。

- 駐車場
- 生産施設
- ロジスティクスエリア
- ホテル
- 小売業界
- 保管場所
- 歩道
- » この機器は、屋内および屋外の床表面から汚れや破片を掃き出すように設計されています。
- » 作業装置を備えた機器は、使用前に適切な状態と操作の安全性を確認する必要があります。それ以外の場合は、機器を使用しないでください。
- » この機器は、これらの操作手順の指示に従ってのみ使用してください。
- » この機器を改造してはいけません。
- » この機器は、取扱説明書で指定されている種類の床で使用してください。
- » この機器は、会社またはその代理人によって機器の使用が承認された範囲のみを使用できます。
- » 常時守って欲しいことがあります。可燃性の高い物質を機器に近づけないでください（爆発 / 火災の危険性）。

## 予見可能な誤用

- 爆発性の液体、可燃性ガス、または希釈されていない酸や溶剤を機器で吸引しないでください。これらには、ガソリン、シンナー、または灯油が含まれ、吸引した空気と接触すると爆発性の煙や混合物を生成する可能性があります。アセトン、未希釈の酸、溶剤も、機器に害を及ぼす可能性があるため、避ける必要があります。
- 反応性金属粉塵（アルミニウム、マグネシウム、亜鉛など）は、高アルカリ性または酸性の洗剤と接触すると爆発性ガスを形成するため、機器でスweepしたり吸引しないでください。
- 燃えている物体や光っている物体をスweepしたり吸引しないでください。
- 機器は有害物質の除去には適していません。
- 本機を危険な場所で使用または保管することはできません。危険な場所での使用は禁止されています。
- 同伴者の同乗はご遠慮ください。
- 本機器で物体を押ししたり、引いたり、運搬することはできません。

## 適切な表面

- アスファルト
- 工業用の床
- スクリード
- コンクリート
- 敷石

## 安全についてのご案内

### 操作に関する安全上のご注意

- クリアランスと電気的な絶縁距離を維持するため、機器は海拔 2000 メートル以上では操作できません。
- 作業装置を備えた機器は、使用前に適切な状態と操作の安全性を確認する必要があります。それ以外の場合は、機器を使用しないでください。
- 機器を危険な場所（ガソリンスタンドなど）で使用する場合は、対応する安全規則を遵守する必要があります。爆発の危険性がある場所での使用は禁止されています。

### 危険

#### 怪我をするおそれがあります

- 落下物によって使用者が立ち往生する可能性のある場所では、落下物から保護するためのオーバーヘッドガードなしで機器を使用しないでください。
- 機器は適切に使用するためにのみ使用してください。機器を操作するときは、周囲の状況を把握し、第三者、特に子供に注意してください。
- 自動車の運転に適用されるすべての安全指示、規則、規制に従うことが重要です。

- 作業を開始する前に、使用者はすべての保護装置が正しく取り付けられ、正しく機能していることを確認する必要があります。
- 機器の使用者は、他の人とその人の所有物との事故に対して責任を負います。
- 使用者がびったりした服を着ていることを確認してください。丈夫な靴を履き、ゆったりとした服装は避けてください。
- 作業を開始する前に周辺を確認してください（例：子供）。十分な視野を確保してください。
- 機器が動作している間は、機器から離れないでください。機器から離れる場合は、機器のスイッチをオフにして、機器が不用意に動かないようにして、キーを取り外してください。
- 機器の不正使用を防ぐため、使用しないときはキーを取り外してください。
- 機器の使用方法を訓練された人、または操作可能なことを提示した人、あらかじめ機器を割り当てられた人のみが機器を使用する必要があります。
- この機器は、身体的、感覚的、精神的な能力に制限がある人、または経験や知識が不足している人による使用を前提としていません。
- 子供が機器で遊ばないように、注意を払う必要があります。

### **⚠ 注意**

#### **故障の恐れがあります**

- ストラップ、紐、ワイヤーはローラーブラシに巻き付く可能性があるため、これらをスイープしないでください。

## 運転操作に関する安全情報

### **⚠ 危険**

#### **怪我をするおそれがあります**

- 運転前に、運転する地面の安定性を確認してください。急勾配だと転倒する可能性があります。
- 進行方向の勾配は 14% を超えてはいけません。速度を出して旋回すると（特に左旋回）、転倒する可能性があります。
- 旋回するときはゆっくり運転してください。不安定な地面で転倒する可能性があります。
- 機器は固い地面の上で使用してください。機器を傾けすぎると転倒する可能性があります。
- 機器に対して横方向の傾斜は 10% を超えてはなりません。

## バッテリー駆動機器の安全上の注意

### **メモ：**

保証は、ケルヒャーが推奨するバッテリーと充電器を使用する場合にのみ有効です。

- バッテリーメーカーと充電器メーカーの指示に従ってください。バッテリーの取り扱いと廃棄については、法律を守ってください。
- バッテリーを放電状態のままにせず、できるだけ早く充電し

てください。

- バッテリーの漏電を避けるために、バッテリーは常に清潔で乾燥した状態に保ってください。バッテリーを保護し、金属粉などの不純物との接触を避けてください。
- 爆発およびショートのおそれがあります。バッテリーに工具などを置かないでください。
- 爆発するおそれがあります。裸火をバッテリーやバッテリーを充電する部屋に近づけないでください。
- 駆動モーターなどの機器の高温部分に触れないでください（火傷の危険性があります）。
- バッテリー液の取り扱いには注意してください。それぞれの安全指示に従ってください。
- 使用済みバッテリーは、各自治体の規定に従って廃棄してください。

## 高く持ち上げる構造のある機器

### **⚠ 危険**

#### **怪我をするおそれがあります**

- 高く持ち上げる構造の機器で作業するときは、廃棄物コンテナを完全に持ち上げて固定します。
- 危険ゾーンの外側で作業してください。

## オーバーヘッドガード付きの機器

### **注意事項**

オーバーヘッドガード（オプション）は、大きな落下物から使用者を保護します。ただし、横転に関しては保護されません。

- オーバーヘッドガードに損傷がないか毎日確認してください。
- オーバーヘッドガードおよびその構成部品が損傷した場合は、オーバーヘッドガード全体を交換してください。
- ケルヒャー認定外のオーバーヘッドガードの改造、要素やコンポーネント、アセンブリの取り付けは許可されていません。

## 機器の運搬に関する安全情報

- トレーラーや車両で運搬する中は、機器の正味重量（運搬重量）に注意してください。
- 機器の輸送時は、バッテリープラグを抜き、機器をしっかりと固定します。

## メンテナンスとお手入れに関する安全情報

- 機器を清掃またはメンテナンスしたり、部品を交換したり、別の機能に切り替えたりする前に、まず機器のスイッチをオフにして、キーを取り外します。
- 電気自動車用バッテリーを搭載した機器でサービスおよびメンテナンス作業を実行する場合、バッテリーはバッテリー絶縁ポイント（バッテリープラグ）で機器の電気系統から切り離す必要があります。
- 電気工具で作業するときは、必ず機器のバッテリーを外して

ください。

バッテリーを外す順番は、最初にマイナス端子を外し、次にプラス端子を外します。バッテリーを再接続する場合は取り外しと逆の順番で実行します。最初にプラス端子を接続し、次にマイナス端子を接続します。

- ウォーターホースまたは高圧ウォータージェットで機器を清掃しないでください（ショートまたは故障するおそれがあります）。
- メンテナンス作業は、認可カスタマーサービスまたはこの分野で安全規則に精通している専門家のみ実行できます。
- 携帯用の商用機器に関する各地域の安全規則を遵守してください。
- 機器の作業中は、常に適切な手袋を着用してください。

## 機能

機器は、ちり通りの原理を利用して動作します。

- ローラーブラシは、汚れを直接廃棄物コンテナに運びます。
- サイドブラシは床面の角と端をきれいにして、汚れをローラーブラシの経路に運びます。
- 細かいほこりは、サクシジョンブロワーによってダストフィルターを経由して吸引されます。

## 荷下ろしのヒント

### 危険

#### 怪我や故障のおそれがあります

- 機器を荷下ろしするときは、機器の重量に注意してください。

重量（バッテリーなし）	560kg*
重量（バッテリーあり）	860kg*

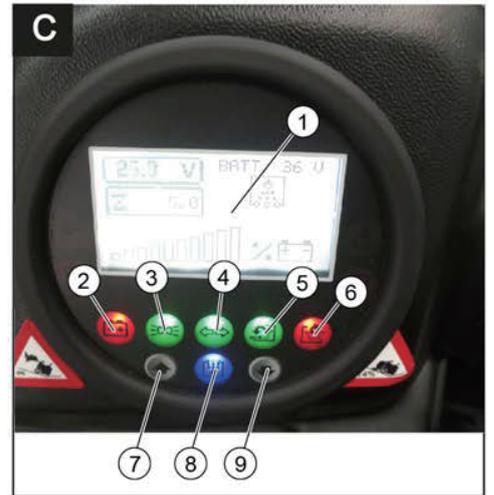
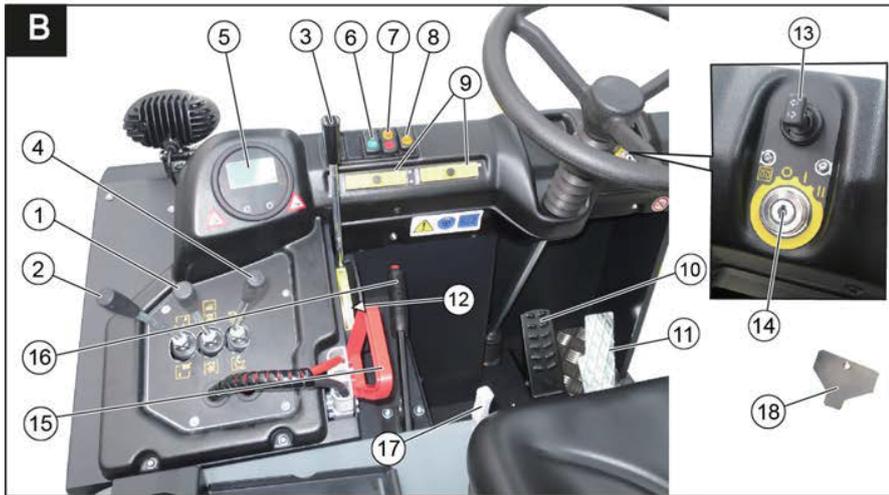
- \* アップグレードキットを搭載している場合、重量はさらに重くなります。

- フォークリフトは使用しないでください。
- 機器の荷下ろしには適切なスロープまたはクレーンを使用します。
- スロープを使用する場合は注意してください：最低地上高70mm。
- 機械がパレットで運搬された場合は、付属の板で荷降ろし用のスロープを組み立てる必要があります。  
手順は2ページ（表紙の内側）に記載しています。

### 注意事項

すべての板は、少なくとも2本のネジで取り付ける必要があります。

# 外観および操作部分



## 機器の外観

### イラストA

- ① 銘板
- ② シート (シートコンタクトスイッチ付)
- ③ ステアリングホイール
- ④ ブレースポット (オプション)
- ⑤ ロックボタン付きハンドル
- ⑥ カバー
- ⑦ サイドブラシ (右)
- ⑧ 前輪
- ⑨ ローラーブラシへのアクセス
- ⑩ ラッシングポイント
- ⑪ バッテリーセット  
(KM 105/180 R Bp Pack 用)
- ⑫ エンジンボンネット
- ⑬ ビーコンランプ
- ⑭ プリンカーライト (オプション)
- ⑮ テールランプ (オプション)
- ⑯ 駆動輪
- ⑰ 作動油レベルの確認窓

## 操作部分

### イラストB

- ① ローラーブラシとサイドブラシコントロールレバー  
レバーを前方：ローラーブラシをオンにして、サイドブラシをオンにして下げます。  
レバーを後方：ローラーブラシをオンにします。
- ② 廃棄物コンテナのコントロールレバー  
廃棄物コンテナを上下に動かします。
- ③ ローラーブラシのコントロールレバー  
ローラーブラシを上下に動かします。
- ④ コンテナ蓋のコントロールレバー  
廃棄物コンテナの蓋を開閉します。
- ⑤ インジケーターランプとディスプレイ
- ⑥ ライト用スイッチ (オプション)
- ⑦ ブロワーとフィルタークリーニングの切り替えスイッチ  
前：ブロワーをオン  
中央：フィルタークリーニングとブロワーをオフ  
後：フィルタークリーニングをオン
- ⑧ ホーンスイッチ
- ⑨ ヒューズ

- ⑩ ブレーキペダル
- ⑪ アクセルペダル (前進 / 後退)
- ⑫ ローラーブラシ摩耗調整 / スイプエリア設定
- ⑬ ウィンカースイッチ (オプション)
- ⑭ イグニッションスイッチ  
0：エンジンをオフにします。  
I：イグニッションをオンにします。  
II：エンジンを始動します。
- ⑮ バッテリーソケット
- ⑯ パーキングブレーキ
- ⑰ シート調整用レバー
- ⑱ ローラーブラシアクセス用のキー

## インジケーターランプとディスプレイ

### イラストC

- ① ディスプレイ (バッテリー容量)
- ② バッテリー充電器制御
- ③ 作業灯表示灯
- ④ ウィンカー表示灯
- ⑤ 廃棄物コンテナ蓋の開放表示灯
- ⑥ 廃棄物コンテナ蓋の閉鎖警告灯
- ⑦ 割り当てなし
- ⑧ フィルタークリーニング中
- ⑨ 割り当てなし

## 機器の始動前

### パーキングブレーキのロック / 解除

1. パーキングブレーキを解除するときは、同時にブレーキペダルを踏みます。
2. パーキングブレーキをロックするときは、同時にブレーキペダルを踏みます。

## 機器の始動

### 一般的な注意事項

1. 機器を平らな床に駐車します。
2. イグニッションキーを取り外します。
3. パーキングブレーキをロックします。

### 点検とメンテナンス

#### 運転開始前の点検（毎日）

1. バッテリーの充電状態を確認して、必要に応じてバッテリーを充電してください（「バッテリーを充電する」を参照）。
2. スイプロローラーとサイドブラシに摩耗や巻き付いたベルトがないか確認します。
3. ベルトが縛られていないかホイールを確認します。
4. 操作するレバーやボタン類の機能を確認します。
5. 機器が損傷していないか確認します。

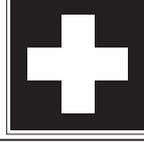
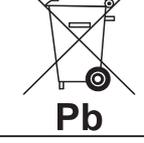
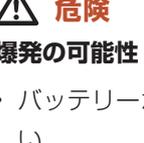
#### メモ：

詳細については、「お手入れとメンテナンス」を参照してください。

### 警告シンボル

バッテリーを取り扱うときは、次の警告に従ってください。

	バッテリーの取扱説明書の情報を確認してください。
--	--------------------------

	目を保護するゴーグルを着用してください。
	子供を酸やバッテリーから遠ざけてください。
	爆発の危険性
	火、火花、裸火、喫煙は禁止されています。
	化学火傷をするおそれがあります。
	応急処置
	警告通知
	廃棄
	バッテリーをゴミ箱に捨てないでください。
	
	危険な電流に注意してください。

#### ⚠ 危険

##### 爆発の可能性

- バッテリーポールや接続部分に工具などを置かないでください。

##### 怪我をする可能性

- 傷が鉛と接触しないようにしてください。バッテリーに関わる作業をした後は、必ず手をきれいにしてください。

##### 火災や引火の危険性

- 機器のそばでの喫煙、および裸火を扱うことは禁止です。
- バッテリーを充電する部屋には充電中に爆発性の高いガスが放出されるため、十分な換気が必要です。

##### 化学物質の危険性

- ・バッテリー液が目に入ったり、皮膚に付着したりした場合は、大量のきれいな水で十分に洗い流してください。
- ・ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・バッテリー液が衣服に接触した場合は、バッテリー液を洗い流してください。

## バッテリーを充電する

### ⚠ 注意

機械を試運転する前にバッテリーを充電してください。

### ⚠ 危険

#### 怪我をするおそれがあります

- ・バッテリーの取り扱いに関する安全上の注意事項を守ってください。充電器メーカーの指示に従ってください。
- ・付属のバッテリーメーカーの取扱説明書を読み、従ってください。
- ・適切な充電器でのみバッテリーを充電してください。

#### バッテリー液による火傷のおそれがあります

- ・バッテリーが放電状態のときに水を補充すると、バッテリーの液漏れが発生する可能性があります。バッテリーを取り扱うときは、安全ゴーグルを使用し、規則を守って怪我や衣服への付着を予防してください。飛散したバッテリー液が皮膚や衣服に付着した場合は、大量の水ですぐに洗い流してください。

### ⚠ 注意

#### 故障するおそれがあります

- ・バッテリーには蒸留水または脱塩水のみ補充してください。いわゆる性能向上剤などはバッテリーに添加しないでください。添加すると、保証の対象外となります。

1. 適度に換気した乾燥した部屋に、機器を安全に駐車してください。
2. エンジンフードを開きます。

#### メモ:

充電中は、カバーを開いたままにしておく必要があります。

3. バッテリープラグを機械から引き出し、充電器のプラグに接続します。
4. 充電器のプラグを16Aのソケットに接続すると、自動的に充電が始まります。
5. 充電器の取扱説明書の情報に従って充電します。推奨される充電器(使用中のバッテリーに適合)の場合は、充電を自動的に終了します。

#### メモ:

バッテリーが充電されたら、まず充電器を電源から取り外して、そのあと充電器をバッテリーから取り外します。

## 推奨バッテリーと充電器

### メモ:

105/180 R Bp Pack スーパーバリエーション (1.186-051.0) には、バッテリーと充電器が付属しています。105/180 R Bp スーパーバリエーション (1.186-050.0) は、バッテリーと充電器は付属していません。次のバッテリーと充電器をお勧めします。

説明	注文番号
バッテリーパック 36V、240Ah、(メンテナンスが少ない) *	6,981-067.0
充電器 36V、40A	6,981-066.0

\* 機器にはバッテリーパックが1つ必要です。

他のバッテリーや充電器の使用は推奨していません。必ずケルヒャーのカスタマーサービスにご相談ください。

## バッテリー液面レベルの確認と調整

### ⚠ 注意

バッテリーメーカーの指示を必ず守って、従ってください。

## バッテリー充電状態の確認

バッテリーの充電状態がディスプレイに表示されます。

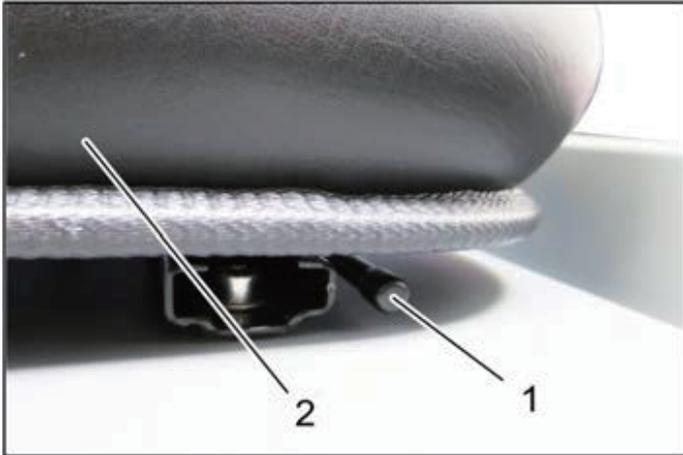


### バッテリー充電インジケータライトが赤の場合:

1. バッテリーが放電しています。スリープモードは自動的に終了します(スリープモードはバッテリーが充電されるまで再起動できません)。
2. 機械を充電する場所まで運転します。急勾配の運転は避けてください。
3. バッテリーを充電します。

## 操作

### シートの調整



- ①シート調整用レバー
- ②シート

1. シート調整レバーを外側に引きます。
2. シートをスライドさせてレバーを離し、任意の位置でロックします。
3. シートを前後に動かして、シートが正しくロックされていることを確認します。

### 機器の始動

#### メモ:

- ・機器のシートにはスイッチを内蔵しています。シートが空いている場合、機械の電源はオフになります。
- ・細かいダストフィルターは、機器の始動時に自動的にクリーニングされます。

1. シートに座ります。
2. パーキングブレーキをロックします。
3. グニッションキーをイグニッションスイッチに挿入します。
4. イグニッションキーを「I」の位置に回します。これで、機器を操作する準備ができました。
5. イグニッションキーを「II」の位置に回します。機器を運転できます。

#### メモ:

- バッテリー容量の表示は、実際の充電状態が約 10 秒後に表示されます。

## 機器を運転する

1. ブレーキペダルを踏み、踏み込んだままにします。
2. パーキングブレーキを解除します。

### 前進する

1. アクセルペダルをゆっくりと前に踏みます。

### 後退する

#### ⚠ 危険

#### 怪我しないように周囲を確認する

- ・後退する場合は、邪魔にならないように注意して、誰かが周りにいる場合は機器から離れるように声をかけてください。

1. アクセルペダルをゆっくりと後ろに踏みます。

### 運転方法

- ・アクセルペダルの踏み量に応じて速度が変わります。
- ・アクセルペダルを小刻みに繰り返し踏んで離す操作をしないでください。

### ブレーキ

- ・アクセルペダルを放すと、機器は自動的にブレーキをかけて停止します。

#### メモ:

- ブレーキペダルを踏んで、さらに強くブレーキをかけることができます。

### 障害物を乗り越える

高さ 70mm 以下の固定された障害物を乗り越える：

- ・ゆっくりと慎重に前進します。

高さが 70mm を超える固定された障害物を乗り越える：

- ・適切なスロープを使用して、障害物を乗り越えてください。

## スイープモード

#### 注意事項

梱包材の紐、ワイヤー、または同様の物体をスイープしないでください。機器のスイープ部分の機械が損傷する可能性があります。

### メモ:

- ・最適な洗浄結果を得るには、特定の状況を考慮して運転速度を調整する必要があります。
- ・細かいダストフィルターは、操作中に10分ごとに自動的に清掃されます。
- ・細かいほこりが多い場所で効率的に作業するには、ブローとフィルタークリーニングの切り替えスイッチを押し、フィルタークリーニングをオンにする必要があります。

## 細かいダストフィルターを手動で掃除する



- ・ブローとフィルタークリーニングの切り替えスイッチを押し、細かいダストフィルターを掃除してください。

## コントロールレバー



- ①ローラーブラシとサイドブラシコントロールレバー
- ②廃棄物コンテナのコントロールレバー
- ③ローラーブラシのコントロールレバー
- ④コンテナ蓋のコントロールレバー

### ローラーブラシとサイドブラシコントロールレバー

- ・レバーを前方：ローラーブラシをオンにして、サイドブラシをオンにして下げます。
- ・レバーを後方：ローラーブラシをオンにします。

### 廃棄物コンテナのコントロールレバー

- ・レバーを前方：廃棄物コンテナを下げます。

- ・レバーを後方：廃棄物コンテナを持ち上げます。

### ローラーブラシのコントロールレバー

- ・レバーを前方：ローラーブラシを上げます。
- ・レバーを後方：ローラーブラシを下げます。

### コンテナ蓋のコントロールレバー

- ・レバーを前方：廃棄物コンテナの蓋が開きます。

### メモ:

廃棄物コンテナ蓋の開放表示灯が緑色に点灯します。

- ・レバーを後方：廃棄物コンテナの蓋が閉まります。

### メモ:

廃棄物コンテナ蓋の閉鎖警告灯が赤色に点灯します。

## 乾いた床を掃除する



ブローとフィルタークリーニングの切り替えスイッチを前に押し、ブローのスイッチをオンにします。

### 表面洗浄あり:

1. ローラーブラシとサイドブラシコントロールレバーを後方に倒す：ローラーブラシをオンにします。
2. ローラーブラシのコントロールレバーを後方に倒す：ローラーブラシを下げます。
3. コンテナ蓋のコントロールレバーを前方に倒す：廃棄物コンテナの蓋が開きます。

### メモ:

廃棄物コンテナ蓋の開放表示灯が緑色に点灯します。

### サイドエッジのクリーニングあり:

1. ローラーブラシとサイドブラシコントロールレバーを前方に倒す：ローラーブラシをオンにして、サイドブラシをオンにして下げます。
2. ローラーブラシのコントロールレバーを後方に倒す：ローラーブラシを下げます。

## 湿った床または濡れた床を掃除する

ブロワーとフィルタークリーニングの切り替えスイッチを中央にして、フィルタークリーニングとブロワーをオフにします。

### 表面洗浄あり：

1. ローラーブラシとサイドブラシコントロールレバーを後方に倒す：ローラーブラシをオンにします。
2. ローラーブラシのコントロールレバーを後方に倒す：ローラーブラシを下げます。
3. コンテナ蓋のコントロールレバーを前方に倒す：廃棄物コンテナの蓋が開きます。

#### メモ：

廃棄物コンテナ蓋の開放表示灯が緑色に点灯します。

### サイドエッジのクリーニングあり：

1. ローラーブラシとサイドブラシコントロールレバーを前方に倒す：ローラーブラシをオンにして、サイドブラシをオンにして下げます。
2. ローラーブラシのコントロールレバーを後方に倒す：ローラーブラシを下げます。

## 廃棄物コンテナを空にする

### ⚠ 危険

#### けがをするおそれがあります

- 作業中は、人や動物が廃棄物コンテナの旋回範囲に入らないようにしてください。

#### 転倒に注意

- 機器が転倒しないように、床が平らな場所で作業してください。

### ⚠ 警告

#### 機器に挟まれるおそれがあります

- 排水機構の機械の中には絶対に手を入れないでください。持ち上げられたコンテナの下に長時間入らないでください。

#### 注意事項

#### けがや破損のおそれがあります

- ローラーブラシの破片が作業中に飛び出す可能性があります。適切な距離を保ってください。



1. コントロールレバーを使用してローラーブラシとサイドブラシを上げます。ローラーブラシとサイドブラシコントロールレバーを中央に、ローラーブラシのコントロールレバーを前方に動かします。
2. コンテナ蓋を閉じます。これを行うには、コンテナ蓋のコントロールレバーを後方に動かします。

#### メモ：

廃棄物コンテナ蓋の開放表示灯が緑色に点灯します。

3. 廃棄物コンテナを持ち上げます。そのためには、廃棄物コンテナのコントロールレバーを後方に動かします。
4. 収集コンテナに向かってゆっくりと運転します。
5. パーキングブレーキをロックします。
6. 廃棄物コンテナの蓋を開きます。そのためには、コンテナ蓋のコントロールレバーを前方に押し、廃棄物コンテナを空にします。

#### メモ：

廃棄物コンテナ蓋の閉鎖警告灯が赤色に点灯します。

7. 廃棄物コンテナの蓋を閉じます。これを行うには、コンテナ蓋のコントロールレバーを後方に押します。

#### メモ：

廃棄物コンテナ蓋の開放表示灯が緑色に点灯します。

8. パーキングブレーキを解除します。
9. 収集コンテナからゆっくりと離れます。
10. 廃棄物コンテナを下げます。そのためには、廃棄物コンテナのコントロールレバーを前方に押します。

## 機器のスイッチをオフにする

1. ブレーキペダルを踏み、踏み込んだままにします。
2. パーキングブレーキをロックします。
3. イグニッションキーを「0」に回して取り外します。

## 機器の運搬

### ⚠ 危険

運搬中に破損するおそれがあります

1. 機器をトレーラーまたは車両で運搬する場合は、機器の正味重量（運搬重量）を考慮してください。
2. 車両で運搬する場合は、各運搬用機材の規定に従って、機器が滑ったり転倒したりしないように固定してください。
3. イグニッションキーを「0」に回して取り外します。
4. パーキングブレーキをロックします。
5. テンションベルト、ロープ、またはチェーンを使用して、ラッシングポイント（4箇所）で機器を固定します。
6. 機器の車輪を車輪止めで固定します。
7. 機器の運搬中はバッテリーを外してください。

## 保管 / 長期間の保管

### ⚠ 危険

怪我や故障のおそれがあるため、機器の保管時は機器の重量に注意

1. 機器を霜が付くことのない、乾燥した平らな場所に駐車します。カバーで覆ってほこりが付かないようにしてください。
2. ローラーブラシとサイドブラシを上げて、ブラシの毛が損傷しないようにします。
3. 廃棄物コンテナの蓋を閉じます。
4. イグニッションキーを「0」に回して取り外します。
5. パーキングブレーキをロックします。
6. 機器が転倒しないように固定します。さらに、機器を長期間使用しない場合は、次の点に注意してください。

7. 機器の内側と外側を清掃します。

8. バッテリープラグを機器から取り外します。

9. バッテリーを充電し、そのあとは約2か月ごとに充電します。

## お手入れとメンテナンス

### ⚠ 危険

電気回路のショートによる故障のおそれがあります

- 電気システムの作業するときや電気カバーを開く前に、必ずバッテリーを外すかバッテリーの接続を外してください。

### 注意事項

故障のおそれがあります

- 細かいダストフィルターは洗わないでください。
- メンテナンス作業は、認定カスタマーサービスまたは安全規則に精通しているこの分野の専門家のみ実行できます。

## 一般的な注意事項

1. 機器を平らな床に駐車します。
2. イグニッションキーを「0」に回して取り外します。
3. パーキングブレーキをロックします。

## 機器の清掃

### ⚠ 注意

故障のおそれがあります

- ウォーターホースまたは高圧ウォータージェットで機器を清掃しないでください（電気回路のショートやその他の故障の可能性あります）。

## 機械内部の清掃

### ⚠ 危険

怪我をするおそれがあります

1. 防塵マスクと保護ゴーグルを着用してください。
2. 機械を布で拭きます。
3. 圧縮空気で機器に付着した汚れを吹き飛ばします。

## 機器外側の清掃

湿らせた布に中性洗剤を含ませて拭いてください。

#### メモ:

強力な洗剤は使用しないでください。

## メンテナンス間隔

#### メモ:

経過時間カウンターは、メンテナンス間隔を表示します。

## お客様によるメンテナンス

#### メモ:

機器のメンテナンスをお客様が機器を保管している場所で行う場合、各種サービスやメンテナンス作業は、資格を持った専門業者が行う必要があります。必要に応じて、専門のケルヒャー販売店にご相談ください。

### 毎日のメンテナンス:

1. バッテリーの充電状態を確認します。必要に応じてバッテリーを充電してください（「バッテリーを充電する」を参照）。
2. ローラーブラシとサイドブラシに摩耗や巻き付いたベルトがないか確認します。
3. ベルトが縛られていないか車輪を確認します。
4. すべての操作ボタンやレバーなどを確認します。
5. 機器が故障していないか確認します。
6. ブLOWERとフィルタークリーニングの切り替えスイッチでダストフィルターをクリーニングします。

### 毎週のメンテナンス:

1. 油圧ユニットを確認します。
2. 作動油レベルを確認します。
3. ブレーキフルードの状態を確認します。
4. パッドに摩耗がないか確認し、必要に応じて交換します。
5. コンテナの蓋を確認し、注油します。

### 摩耗後のメンテナンス:

1. シーリングストリップを交換します。
2. サイドシールを再調整するか、交換します。
3. ローラーブラシを交換します。
4. サイドブラシを交換します。

#### メモ:

詳細については、「メンテナンス作業」を参照してください。

## カスタマーサービスによるメンテナンス

### 出荷後、50 時間稼働後のメンテナンス:

- 点検チェックリストに従って、カスタマーサービスに最初のメンテナンスを依頼してください。

### 出荷後、250 時間稼働後のメンテナンス:

- 点検チェックリストに従って、カスタマーサービスにメンテナンスを依頼してください。

保証内容を有効にするために、保証期間内のすべてのサービスおよびメンテナンス作業は、ケルヒャーカスタマーサービスが行います。

## メンテナンス作業

### 準備:

1. 機器を平らな床に駐車します。
2. イグニッションキーを「0」に回して取り外します。
3. パーキングブレーキをロックします。

## 持ち上げた廃棄物コンテナの固定

### ⚠ 危険

#### 怪我をするおそれがあります

- 廃棄物コンテナを持ち上げるときは、必ず安全バーを使用してください。
- 危険区域の外側から機器を固定してください。



- ①安全バーの固定金具
- ②安全バー

1. 廃棄物コンテナが高く持ち上がった状態にするために、安全バーを安全バーの固定金具に差し込みます。

## バッテリーの交換

### 注意事項

- バッテリーを取り付けるときは、バッテリー端子の向きに注意してください。バッテリー端子は、移動方向の左側に取り付けられています。
- 電池は 1 セットでのみ交換可能です。交換は、訓練を受けた担当者が行う必要があります。
  - » バッテリーはたいへん重いため（重量 300kg）、交換作業にはクレーンが必要です。



バッテリー端子 - 移動方向左

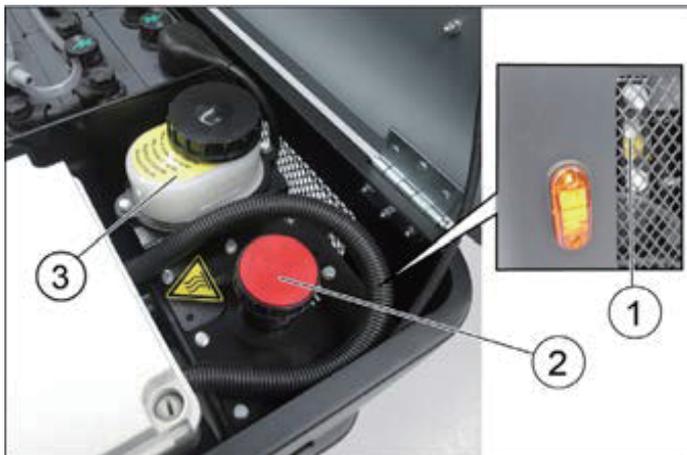
- ① マイナス端子
- ② プラス端子

1. バッテリーを取り外すときは、最初にマイナス端子を外してください。
2. バッテリーセットの 4 つのアイレットにクレーンのチェーンを固定し、バッテリーを慎重に持ち上げます。

## 作動油レベルの確認と補充

### 注意事項

- 廃棄物コンテナを持ち上げないでください。
  - » エンジンフードを開きます。



- ① 作動油レベルの確認窓
- ② オイルフィルターキャップ

③ コンテナ（機能なし）

1. 作動油レベルの確認窓でオイルレベルを確認します。
  - » オイルレベルは「MIN」と「MAX」のマークの間にある必要があります。
  - » オイルレベルが「MIN」マークを下回っている場合は、作動油を追加します。
2. オイルフィルターキャップを緩めます。
3. 充填口の周りを清掃します。
4. 作動油を補充します。  
オイルグレード：「技術データ」を参照してください。
5. オイルフィルターキャップを締めます。

## 油圧ユニットの確認

1. パーキングブレーキをロックします。
2. モーターを始動します。
  - » 油圧ユニットのメンテナンス作業を実行できるのは、認可カスタマーサービスのみのみです。
3. すべての油圧ホースと接続をチェックして、オイル漏れがないことを確認します。

## ローラーブラシの確認

### ⚠ 危険

怪我をするおそれがあります

- 廃棄物コンテナを持ち上げるときは、必ず安全バーを使用してください。
- 危険区域の外側から機器を固定してください。



- ①廃棄物コンテナ
- ②安全バー
- ③ローラーブラシ

1. 機器のスイッチをオフにします。

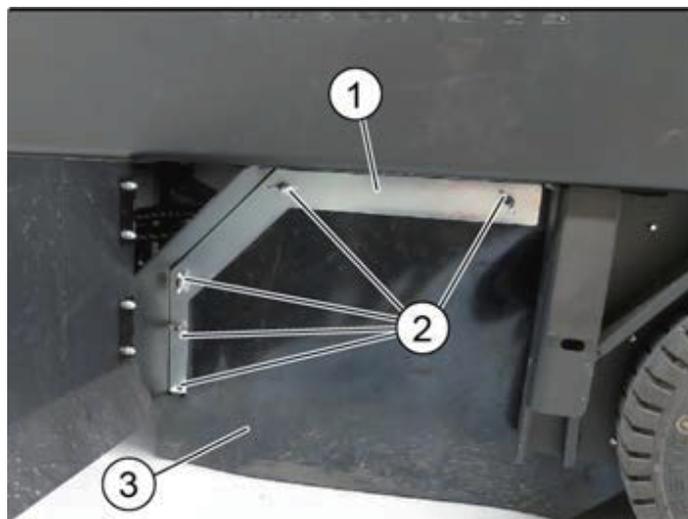
2. 空になった廃棄物コンテナを最後まで持ち上げます。ローラーブラシが見えます。廃棄物コンテナを固定します。「持ち上げた廃棄物コンテナの固定」を参照してください。

3. イグニッションキーを「0」に回して取り外します。

4. ローラーブラシに損傷がないか確認し、巻き付いたテープやケーブルがあれば外します。

5. 安全バーを格納場所に折りたたみます（持ち上げられた廃棄物コンテナは固定されていません）。

6. 廃棄物コンテナを最後まで下げます。



- ①保持弓
- ②蝶ナット
- ③サイドシール

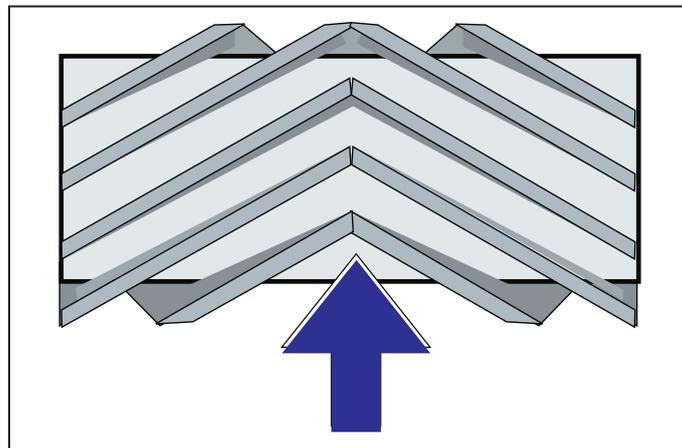
3. 蝶ナットを緩めます。

4. 保持クランプを取り外します。

5. サイドシールを外側に折ります。

6. ローラーブラシインテークの固定ネジを緩め、インテークを外側に振ります。

7. ローラーブラシを引き出します。



進行方向に対するローラーブラシ取り付け時の向き（上面図）

**メモ:**

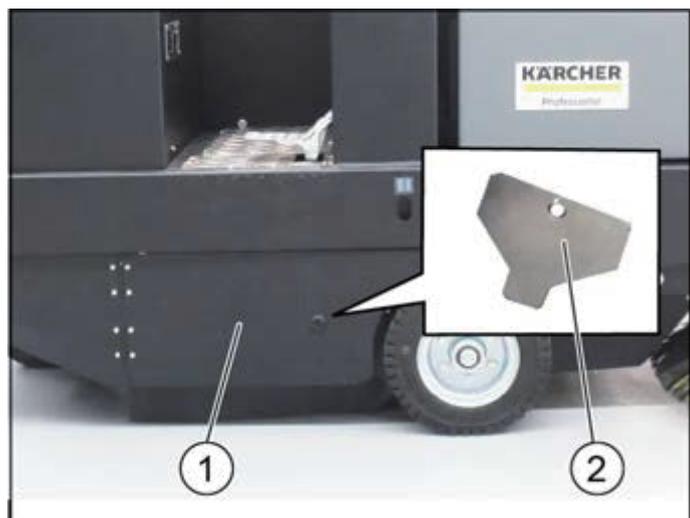
新しいローラーブラシを取り付けるときは、ローラーブラシの剛毛が正しい向きになっていることを確認してください。

» 新しいローラーブラシを取り付けます。ローラーブラシのナットは、反対側のクランクのくぼみに挿入する必要があります。

**メモ:**

新しいローラーブラシを取り付けたら、スイーptrackを再調整する必要があります。

## ローラーブラシの交換



- ①右サイドパネル
- ②ローラーブラシアクセス用のキー

1. 空になった廃棄物コンテナを最後の位置まで持ち上げます。  
 » 廃棄物コンテナを固定します。「持ち上げた廃棄物コンテナの固定」を参照してください。

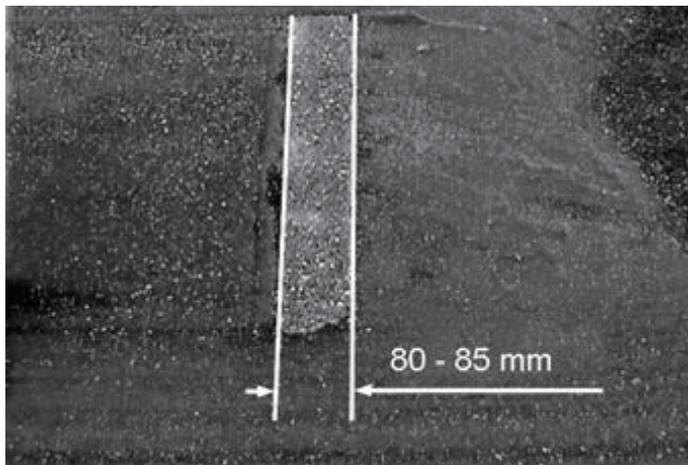
2. ローラーブラシアクセス用のキーを使用してサイドカバーを開きます。

## ローラーブラシのスイープトラックの確認と調整

### メモ:

スイープトラックは工場出荷時に 80mm に設定されています。ローラーブラシが磨耗した場合、無段階に調整できます。

1. ブLOWERをオフにします。
2. ほこりやチョークなどに覆われた滑らかで平らな床を機器で運転します。
3. ローラーブラシとサイドブラシコントロールレバーを後方に倒します：ローラーブラシをオンにします。  
ローラーブラシのコントロールレバーを後方に倒します：ローラーブラシを下げます。
4. ローラーブラシを約 10 秒間動かします。
5. ローラーブラシとサイドブラシコントロールレバーを中央の位置に動かします。  
ローラーブラシのコントロールレバーを前方に倒します：ローラーブラシを上げます。
6. 廃棄物コンテナを持ち上げます。
7. 機械を後方に運転します。
8. スweepされた幅を確認します。



スイープトラックは、幅 80 ~ 85mm の長方形になることが必要です。

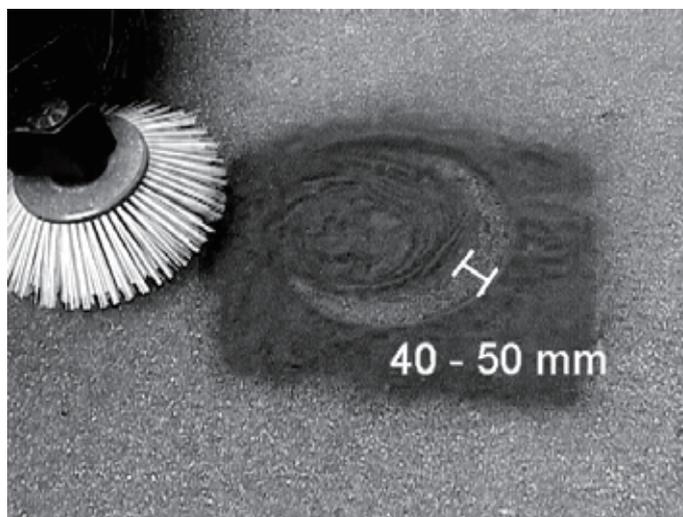


- ⑫ 摩耗調整用のネジを緩めて調整します。  
ネジを上部で固定する：狭いスイープトラック  
ネジを下部で固定する：広いスイープトラック

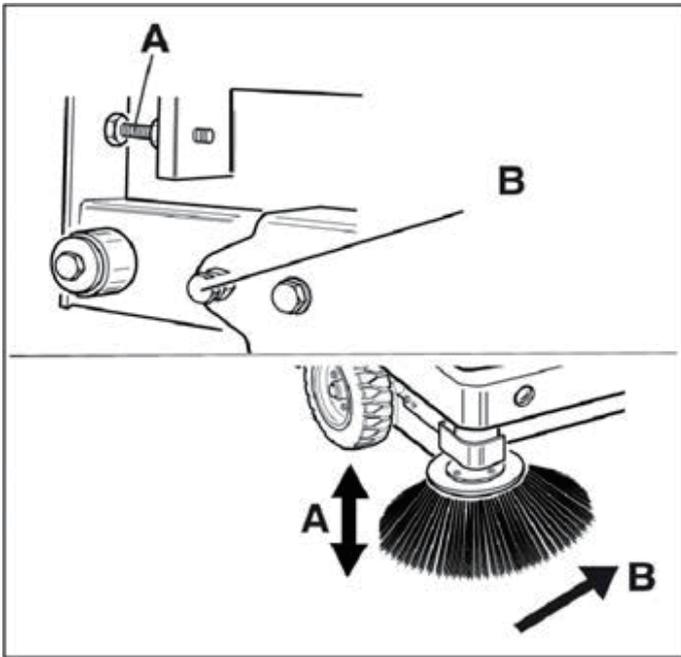
9. ネジをしっかりを締め付けます。
10. ローラーブラシのスイープトラックを再度確認します。

## サイドブラシのスイープトラックの確認と調整

1. サイドブラシを持ち上げます。
2. ほこりやチョークなどに覆われた滑らかで平らな床を機器で運転します。
3. コントロールレバーでサイドブラシを下げ、約 10 秒ブラシを動かします。
4. サイドブラシを持ち上げます。
5. 機器を後方に運転します。
6. スweepされた幅を確認します。



スイープトラックは、幅 40 ~ 50mm になることが必要です。



7.  
2本の調整ネジを使用してスイープトラックを調整します。

8.  
サイドブラシのスイープトラックを再度確認します。

## サイドシールの調整

### ⚠ 危険

怪我をするおそれがあります

・廃棄物コンテナを持ち上げるときは、必ず安全バーを使用してください。

1.  
空になった廃棄物コンテナを最後の位置まで持ち上げます。廃棄物コンテナを固定します。「持ち上げた廃棄物コンテナの固定」を参照してください。

2.  
「ブラシローラーの交換」の説明に従って、サイドカバーを開きます。

3.  
サイドホールディングプレートの6つの蝶ネットを外します。

4.  
前面保持プレートの3つのネット (SW 13) を緩めます。

5.  
サイドシール (細長い穴) を床から約 1 ~ 3mm になるまで押し下げます。

6.  
保持プレートをねじ込みます。

7.  
機器の反対側も同様の手順で繰り返します。

## 細かいダストフィルターの確認と交換

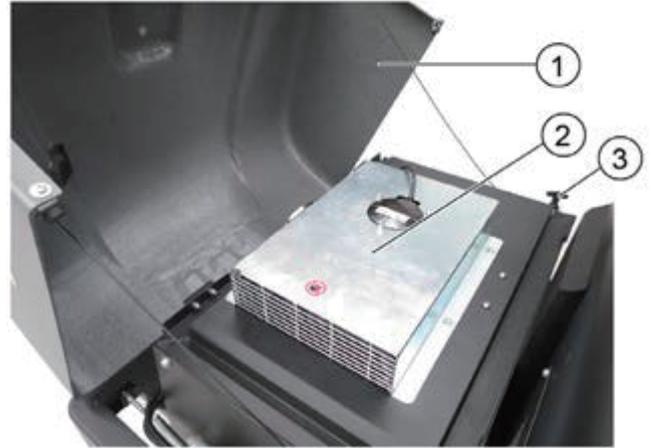
### ⚠ 警告

怪我をするおそれがあります

・ダストフィルターの周囲で作業するときは、防塵マスクを着用してください。微粒子の取り扱いに関する安全規制を遵守してください。

1.  
ブロワーとフィルタークリーニングの切り替えスイッチを使用して、細かいダストフィルターをクリーニングします。

2.  
廃棄物コンテナを空にします。



①カバー  
②フィルターカバー (バイブレーターシステム)  
③フィルターカバーの留め金 (2箇所)

3.  
カバーを前に倒します。



①カバー  
②細かいダストフィルター  
③クロスストラット

4.  
ロックを開きます。

5.  
フィルターキャップを開きます。

6.  
細かいダストフィルターを確認し、必要に応じて清掃または交換します。

### メモ:

細かいダストフィルターの交換は、ケルヒャーカスタマーサービスのみが行うことができます。

7.  
フィルターカバーを挿入してロックします。

## ヒューズの交換

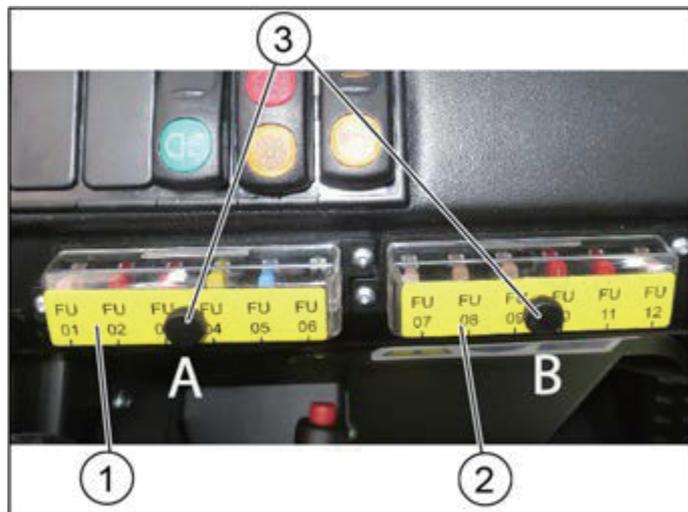
### ⚠ 注意

#### 故障のおそれがあります

- ・ヒューズボックスのカバーが逆になっていないことを確認してください。

### 注意事項

定格で同一のヒューズのみを使用してください。



①ヒューズボックス A

②ヒューズボックス B

③ロックナット

### 1.

ロックナットを緩めます。

### 2.

ヒューズボックスのカバーを開きます。

### 3.

ヒューズを確認します。

### 4.

切れたヒューズを交換します。

ヒューズボックス A		
FU01	安全リレー起動	5A
FU02	DC / DC を有効にする	10A
FU03	ビーコンランプホーン	10A
FU04	サクシヨンブロー	20A
FU05	バイブレーターシステム	15A
FU06	DC / DC 入力	20A

ヒューズボックス B		
FU07	多機能ディスプレイ	5A
FU08	後退警告信号 フラップインジケーター	7.5A
FU09	セーフティリレー サクシヨンブロー バイブレーターシステム	5A
FU10	ウォーターポンプ (オプション)	10A
FU11	照明システム (オプション) ブリンカー (オプション) ブルースポット (オプション)	10A

ヒューズボックス B		
FU12	システムフラットフォールドフィルターとラウンドフィルターの振動システム (オプション)	15A

メインリレーヒューズ		
FU13*	メインリレー	125A

\* これらのヒューズは、潜在的な障害がないか機器をチェックする必要があるため、認可カスタマーサービスのみ変更できます。

## 故障かな？と思ったら

障害	解決策
機器が動かないか、ゆっくりしか動かない	運転席に座ると、シートコンタクトスイッチが作動します。
	ヒューズFU13をカスタマーサービスに確認してもらいます。
	バッテリーを充電または交換します。
	パーキングブレーキを解除します。
	絡まった紐やコードがないか確認します。
	ケルヒャーカスタマーサービスに連絡してください。
油圧システムの口笛のような音	作動油を補充します。
	ケルヒャーカスタマーサービスに連絡してください。
ブラシがゆっくり回転しているか、まったく回転していない	絡まった紐やコードがないか確認します。
	ケルヒャーカスタマーサービスに連絡してください。
ブラシ領域の吸引力が少なすぎるか、まったくない	ダストフィルターを掃除してください。
	ケルヒャーカスタマーサービスに連絡してください。
機械にほこりがたまる	サイドシールを調整します。
	ブロワーのスイッチを入れてください。
	ダストフィルターを掃除してください。。
	フィルターワッシャーを交換してください
	ケルヒャーカスタマーサービスに連絡してください。
スweepユニットがゴミを拾わない	廃棄物コンテナを空にしてください。
	ダストフィルターを掃除してください。
	ローラーブラシを交換してください。
	スweepトラックを調整してください。
	廃棄物コンテナのシーリングストリップを交換してください。
	ブラシローラーの詰まりを取り除いてください。
	ケルヒャーカスタマーサービスに連絡してください。
廃棄物コンテナが上下しない	ヒューズを確認してください。
	廃棄物コンテナからロックサポートを取り外します
	ケルヒャーカスタマーサービスに連絡してください。
廃棄物コンテナがゆっくり回転しているか、まったく回転していない	ケルヒャーカスタマーサービスに連絡してください。
作動油で稼働部品の操作で問題がある	ケルヒャーカスタマーサービスに連絡してください。

## 技術データ

		KM 105/180 R Bp Classic	KM 105/180 R Bp Pack Classic
<b>機器のデータ</b>			
運転速度、前進	km/h	6	6
院展速度、後退	km/h	3	3
登坂能力（最大）	--	14%	14%
サイドブラシなしの表面洗浄性能	m <sup>2</sup> /h	4680	4680
サイドブラシありの表面洗浄性能	m <sup>2</sup> /h	6300	6300
サイドブラシなしの作業幅	mm	780	780
サイドブラシ 1 本での作業幅	mm	1050	1050
防滴保護タイプ	--	IPX 3	IPX 3
バッテリーが完全に充電された状態での使用時間	h	2.5	2.5
<b>電気系統</b>			
バッテリー容量	V, Ah	---	36, 240
バッテリーセット	kg	---	300
<b>作動油</b>			
作動油タイプ	--	HV 46	HV 46
<b>廃棄物コンテナ</b>			
最大荷降ろし高さ	mm	1340	1340
廃棄物コンテナの量	l	180	180
<b>ローラーブラシ</b>			
ローラーブラシ径	mm	280	280
ローラーブラシ幅	mm	780	780
スピード	1/min	360	360
スイープトラック	mm	80	80
<b>サイドブラシ</b>			
サイドブラシ径	mm	580	580
スピード	1/min	80	80
<b>ソリッドゴムタイヤ</b>			
サイズ、フロント	--	4.00-6	4.00-6
サイズ、リア	--	300 x 145 - 6	300 x 145 - 6
<b>ブレーキ</b>			
前輪	--	機械式	機械式
後輪	--	電気式	電気式
<b>フィルターおよび吸引システム</b>			
タイプ	--	ポケットフィルター オプションで利用可能：フラット フォールドフィルターとラ ウンドフィルター	ポケットフィルター オプションで利用可能：フラット フォールドフィルターとラウンド フィルター

		KM 105/180 R Bp Classic	KM 105/180 R Bp Pack Classic
スピード	l/min	2600	2600
フィルター表面積、細かいダストフィルター	m <sup>2</sup>	5.2	5.2
公称真空、吸引システム	mbar	6	6
公称体積流量、吸引システム	m <sup>3</sup> /h	600	600
バイブレーターシステム	--	電気モーター	電気モーター
<b>稼働状態</b>			
温度	°C	-5 ~ +40	-5 ~ +40
空気湿度、結露なし	%	0 ~ 90	0 ~ 90
EN 60335-2-72 に基づいて求めた値			
<b>騒音</b>			
音圧レベル L <sub>DA</sub>	dB(A)	70	70
不確実性 K <sub>DA</sub>	dB(A)	3	3
音響出力レベル L <sub>WA</sub> + 不確実性 K <sub>WA</sub>	dB(A)	93	93
<b>機器の振動</b>			
手腕の振動値	m/s <sup>2</sup>	0.7	0.7
シート	m/s <sup>2</sup>	0.5	0.5
不確実性 K	m/s <sup>2</sup>	0.1	0.1
<b>寸法と重量</b>			
長さ×幅×高さ	mm	1847 × 1065 × 1388	1847 × 1065 × 1388
右回転半径	mm	2470	2470
左回転半径	mm	2470	2470
無負荷重量 (バッテリーあり / なし)	kg	560/860	560/860
許容総重量	kg	1224	1224
許容フロントアクスル荷重	kg	734	734
許容リアアクスル荷重	kg	490	490

技術的な変更が行われることがあります。





# THANK YOU!

MERCI! DANKE! ¡GRACIAS!



ユーザー登録をしていただくと製品(アクセサリ、パーツ、洗浄剤を除きます)の保証期間が2年に延長されます。

Registrieren Sie Ihr Produkt und profitieren Sie von vielen Vorteilen.

Register your product and benefit from many advantages.

Enregistrez votre produit et bénéficier de nombreux avantages.

[www.kaercher.com/welcome](http://www.kaercher.com/welcome)



### 製品のご用命、仕様に関するお問い合わせ

#### ▶▶ 業務用製品コールセンター

Tel:045-777-7410 FAX:045-777-7411

受付時間:9:00~17:00 月曜~金曜日(祝日、当社休日を除く)

### 製品の故障、修理、技術に関するお問い合わせ

#### ▶▶ サービスフロント

お電話の際は事前に下記項目をご確認の上ご連絡ください。

①機種名 ②購入時期(年月日) ③故障状況

TEL:0570-78-3140(ナビダイヤル)

受付時間:9:00~17:00 月曜~金曜日(祝日、当社休日を除く)

ホームページからのお申し込み受付

<https://forms.gle/RzbPVHMdGowcGx598>



製品の登録は  
こちらから



**KÄRCHER**

ケルヒャー ジャパン株式会社